



本郷台中だより

～学ぶ楽しさを知り、夢や希望を育む学校～

令和5年度第11号

令和5年1月10日

文京区立本郷台中学校

校長 江熊 秀昭

目標に向けて

校長 江熊 秀昭

昨年も様々なニュースがありました。明るいニュースでは、バレーボールやバスケットボールなど各種目のパリ・オリンピック出場権獲得、ラグビーW杯の健闘、藤井聡太棋士の8冠獲得、WBC優勝、そして大谷翔平選手の日本人初のメジャーリーグ本塁打王及び10年1015億円での契約などが上げられます。

各種目の選手が発言する共通点があります。

1. 自分の取り組んでいる種目が好き
2. 自分を振り返ることが出来る
3. 現状に満足していない

大谷翔平選手はどうでしょうか？

野球を仕事としてではなく、自分の好きなことが野球であると捉えています。好きなことのためだから体調管理を第一に考え、外食をしない、1日10時間の睡眠を取るなどを行っています。新年俸を単純に計算すると10年間で時給約116万、日給約2780万、月給約8億4600万です！（※実際の契約内容は違います）

これだけのお金を手にしても、野球第一。でも考えてみれば、人は好きなことをしていると何かを我慢すると言う感覚はなくなり、時間の経過も忘れてしまうことがあります。子どもが好きなことに夢中になる、大人も気がついたら時間が過ぎていた、そんな経験は誰しもあるはずです。皆さんにとって「学び」の中で、夢中になれる好きなものは何ですか？

大谷選手は結果に一喜一憂することなく、なぜ上手くできたか、失敗した原因はどこにあるのか。自分なりに考え、チームスタッフと相談しながら修正していきます。試験の点数に目を奪われがちですが、「試験」とは「験＝あることを行ったことによる効果＝学習・活動」を「試＝試し調べること」です。私たちはできなかった理由(言い訳)を探してしまうことが多いのでは？大谷選手のように取り組みを振り返り、次に備えたいものです。

「最高のシーズンでしたね」と問われても、「もっとできたはずですよ」と答えています。達成した記録や成果に満足することなく、もう一段階上を目指しています。自己管理を徹底しています。「二刀流ができない」「170キロは投げられない」といった先入観を持たずに、挑戦をすることの大切さを発言しています。自らの限界を決めつけることなく、常に可能性を追求する姿勢は真似したいものです。

お金や名声でなく、自分の好きなことをどこまでも追求する姿勢、「最高の状態にいること」をメインに過ごしています。これらの姿勢は、私たちにとっても大きな学びとなります。彼の成功は、才能だけでなく、日々の習慣によって築かれているものです。新年の目標に向けて、何か一つでも取り入れたいものがあれば、実践してみましよう。

生徒の活躍

- 男子バスケットボール部
区新人大会 優勝 ※都大会出場(1月14日～)
優秀選手賞：2年1名
- 明るい選挙啓発ポスターコンクール
入選：1年1名
佳作：2年2名
- 税の標語コンクール
本郷税務署長賞：1年1名
本郷間税会長賞(入選)：2年1名
- 区読書感想文コンクール
表彰：1年4名、2年1名、3年1名

被災地に思いを

元旦に石川能登半島で大地震が発生しました。救助、復興が速やかに進むことを願います。

秩序ある冷静な避難や誤報に惑わされない行動など、学ぶべき点が多くあります。

被災地の中学生に思いを寄せて日々を過ごしてください。

【1月行事予定】

5	金	冬季休業日終
8	月	成人の日
9	火	始業式
10	水	専門委員会
12	金	2年席書会
13	土	土曜授業 1年美術館連携授業 薬物乱用防止教室
15	月	生徒会朝礼
16	火	2年TGG(お弁当)
17	水	区中研(給食後下校)
19	金	1年席書会 第3回英語検定
22	月	学年朝礼
23	火	区中研(給食後下校)
25	木	避難訓練
26	金	都立高校推薦検査 音羽中学校研究発表会(給食後下校)
27	土	都立高校推薦検査
29	月	全校朝礼 安全指導
31	水	校内研修会 1・3年給食後下校

